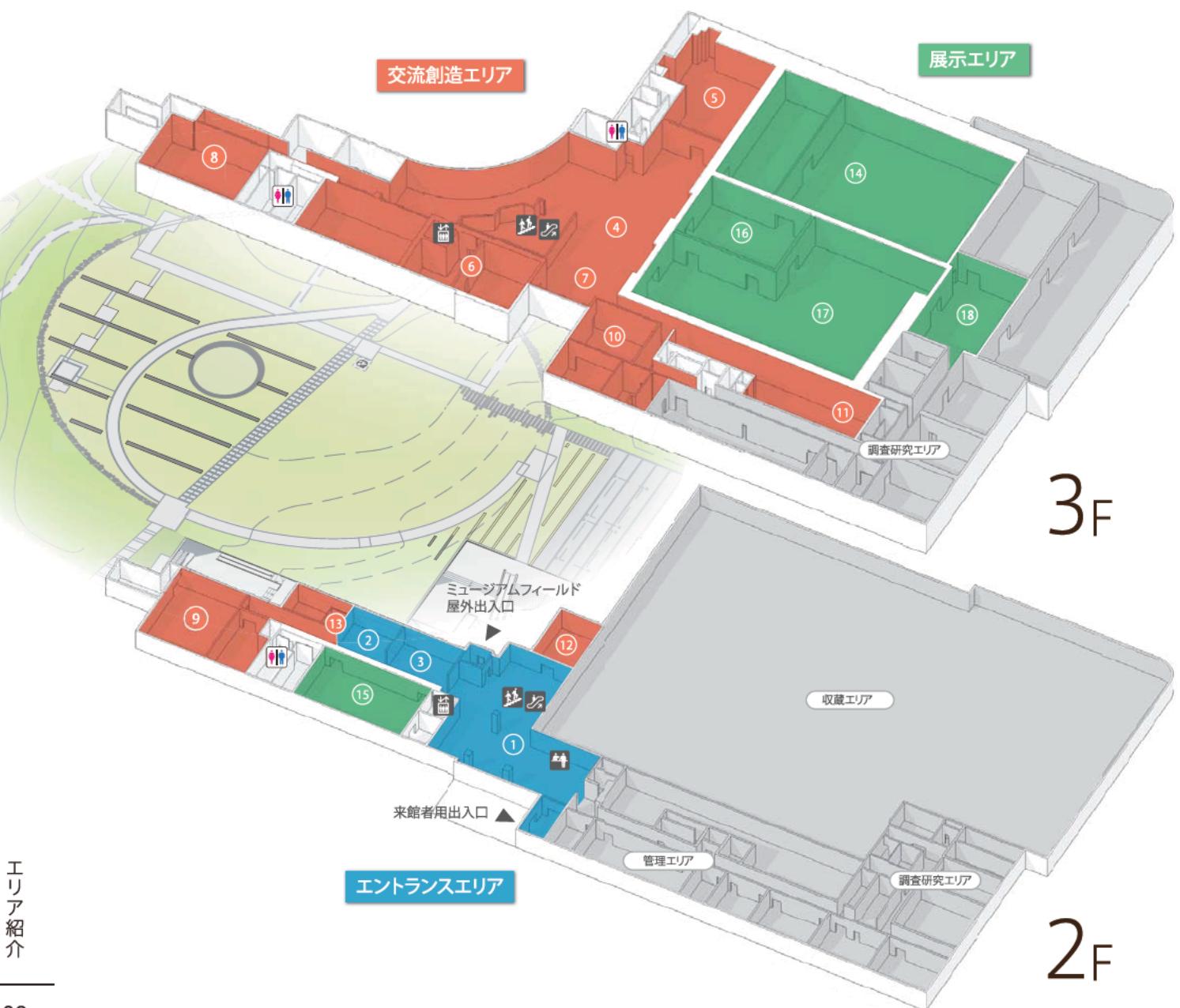




04 エリア紹介

新県立博物館では 創造と発信が融合することで 新しい活動を生みだします

新県立博物館では、「三重が持つ『多様性の力』」を創造・発信する交流創造エリアと展示エリアが融合することで、新しい活動を生みだします。このような博物館を、県民・利用者のみなさんが利用し、展示を見ることで、自分たちがくらしている地域への興味や関心、好奇心を持ち、その後の博物館活動に参加していただくことで、地域活動と博物館活動の相互循環が生まれます。



■ エントランスエリア

開かれた明るい空間で期待感が高まります

① エントランスホール

来館者を迎える博物館の顔にふさわしく、伊勢型紙をモチーフに三重らしさを演出した明るい吹き抜けの空間で、期待感が高まります。

② 飲食・休憩スペース

テーブルや壁などに三重の魅力と楽しさを演出し、オオサンショウウオの水槽を眺めながら、楽しく、くつろいだ時間を過ごすことができます。

③ ミュージアムショップ

博物館の刊行物や活動のためのグッズ類に加えて、博物館らしさを演出したオリジナルグッズ類や、三重の伝統工芸品、三重らしさを感じるお土産などを販売します。

■ 交流創造エリア

学習や研究など多様な活動と交流が展開する空間

交流創造エリアは、新県立博物館の特色である「交流創造」を積極的に展開する役割を果たします。活動の中心となる学習交流スペースをはじめ、こども体験展示室、資料閲覧室などの諸室の機能連携により、三重の自然と歴史・文化に関する県民・利用者のみなさんの多様な興味や関心、目的に応える活動を展開する、明るく開放的な空間とします。

④ 学習交流スペース

交流創造エリアの中心的な役割を果たすスペース。交流創造エリアの諸室や展示エリアとも機能連携しながら、三重に関する興味や関心、目的に応じた県民・利用者のみなさんの学習や研究、グループ・団体等の活動と交流の舞台となります。

⑤ こども体験展示室

子どもたちが、やってみる・しらべる・のこす・つたえるを体験できる展示を通じて、博物館の楽しさを知ることができます。

⑥ 三重の実物図鑑ルーム

昆虫や植物、動物、伝統工芸品など三重の自然と歴史・文化に関する基本的な資料を図鑑のように展示しています。

⑦ レファレンスカウンター

学習交流スペースの窓口として、三重の自然と歴史・文化、県の歴史的公文書、県内外の博物館・公文書館に関する問い合わせや相談など、県民・利用者のみなさんの活動や交流をサポートします。

⑧ 研修・ガイダンスルーム

講座や研修会、団体・学校向けのガイダンス(説明・案内)を行います。

⑨ 実験実習室

さまざまなワークショップや実験・実習型の講座を開催します。

⑩ 資料閲覧室

新県立博物館に収蔵されている三重の自然と歴史・文化に関する資料(県の歴史的公文書も含む)を閲覧することができます。

⑪ 書庫

県民・利用者のみなさんが閲覧利用できる約8万冊の書籍(三重の自然と歴史・文化および県内外の博物館・公文書館に関する書籍類)を収蔵しています。

⑫ 県民活動室

新県立博物館で活動・交流する県民・利用者のみなさん、グループ・団体等が活用できる部屋です。

⑬ オオサンショウウオ飼育水槽

特別天然記念物であるオオサンショウウオを観察できます。

⑭ 基本展示室

常設的に三重の特色である自然と歴史・文化の「多様性」やその魅力をわかりやすく紹介し、「三重ってすごいところ!」を発信します。一つの空間で展示することで、豊かな自然の中で人・モノ・文化が育まれた三重を総合的に表現します。美しさ、ダイナミックさなど、体感的に伝える展示で来館者をひきつけ、さらにより詳しい情報へと興味・関心を深める展示とします。

テーマ展示室

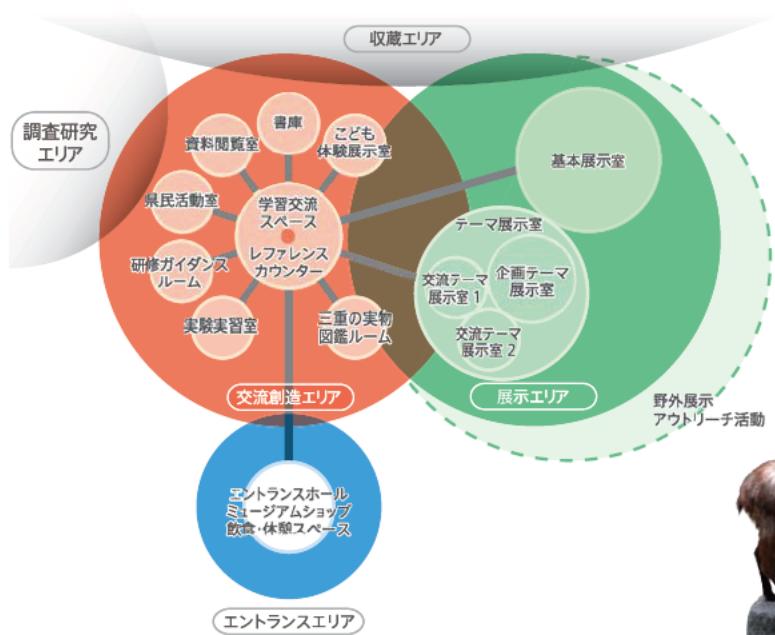
⑮ 交流テーマ展示室1

⑯ 交流テーマ展示室2

⑰ 企画テーマ展示室

⑱ 展示準備作業室

展示の内容・規模に応じて3つの展示室を柔軟に活用することで、全国規模の展示から小さな展示まで多様な内容の展示を楽しめます。また、館の自主企画から、県民・利用者のみなさんの協創による展示まで、年中新しい展示を見ることができ、三重の魅力を多角的に知ることができます。



県立博物館の“けんばくのおすすめ”から

カモシカは実は「ウシ科」なんです。

くわしくは、県博ホームページの“けんばくのおすすめ”へ!
<http://www.bunka.pref.mie.lg.jp/haku/osusume/index.htm>



05 交流創造

新しい発見やおどろき、
知的好奇心から
広がる多彩な活動と交流の輪

交流創造の活動として、三重の自然と歴史・文化に関する知りたい、学びたい、調べたいなどのさまざまなニーズを持つ県民・利用者のみなさんに対して、三重に関するレファレンス、情報受発信、資料の閲覧、学習交流プログラムなどの機会を提供します。そこから得られる一人ひとりの新しい発見やおどろき、知的好奇心から広がる多彩な活動を県民・利用者と館、県民・利用者相互の交流の中で育み、新たな創造や発信へつなげていきます。

■交流創造エリアの中核 —学習交流スペース—

① レファレンスカウンター

学習交流スペースの核となる場として、学芸員や担当者が常駐し、臨機応変に、県民・利用者のみなさんの活動や交流をサポートします。

② 資料相談コーナー

三重の実物図鑑ルームや資料閲覧室・書庫も活用しながら、連動して県民・利用者のみなさんの資料相談などに対応します。

③ 資料閲覧室

実物資料や図書資料などを実際に見て調べたい人の閲覧に適切に対応します。収蔵庫からの資料がスムーズに搬出入できるよう管理エリアと隣接しています。

④ 開架書架・情報コーナー

三重の自然と歴史・文化に関する書籍や情報を自由に見ることができます。わからないことや調べもの相談をレファレンスカウンターや資料相談コーナーにいる学芸員などの職員に聞くことができます。

⑤ ワークショップコーナー

訪れた県民・利用者のみなさんが、気軽に参加できる多様なワークショップを開催します。

⑥ くつろぎコーナー

ミュージアムフィールド側に面した四季折々の季節を楽しめる明るい場所で、来館した人がゆったりとくつろいだり、談笑したりすることができます。

⑦ 活動コーナー

自主的に活動するさまざまなグループのミーティングや活動の発表など自由に利用できます。

⑧ 県内博物館情報コーナー

県民・利用者のみなさんの興味・関心に応えてくれる、多彩な県内博物館の情報を受発信できる情報コーナーです。

こども体験展示室

子どもたちが博物館を好きになる展示室



訪れた子どもたちが「遊ぶ・楽しむ」を通して、博物館の楽しさを知るきっかけとなる展示室。資料に接することができる展示内容です。窓からミュージアムフィールドが望める開放的な空間に、登ったりくぐたりできる天井高を生かした展示を設けています。子どもたちの好奇心が高まります。

三重の実物図鑑ルーム

三重の自然と歴史・文化資料を美しく、図鑑的に展示



歴史と文化に関する資料は、特徴を際立たせる美しい展示を基本とし、季節・企画に応じた展示替えを行います。自然に関する資料は図鑑的分類による展示に加えて、映像やグラフィック、さわれる展示など、動植物の生態を伝える展示手法を用い、身近な三重の魅力を再発見できます。

三重の近・現代史を実物から学ぶ —公文書館の機能を持つ博物館—

新県立博物館では、県の作成した公文書を選別して、歴史的公文書として受け入れ、博物館のもつ古文書や多様な実物資料とともに、県民・利用者のみなさんが閲覧できるようにします。こうした資料をはじめ、普段展示されていない資料を実際に目前で見ることで、より自然や歴史へのわくわくどきどきが高まります。

資料閲覧室



日本一大きな骨なんです。

くわしくは、県博ホームページの“けんぱくのおすすめ”へ!
<http://www.bunka.pref.mie.lg.jp/haku/osusume/index.htm>



06 展示

訪れるたびに 新しい視点や角度で 見ることができる展示

多様で豊かな三重のあらましを紹介する「基本展示」と、いくつかの展示を組み合わせてさまざまな視点から三重の魅力を発信する「テーマ展示」を中心に構成しています。子どもから大人までだれもが、わくわく、ときどき感をもって楽しむことができる新しい発見や驚きに満ちた親しみやすく理解しやすい展示をめざしています。また、さまざまな視点による展示を複数の展示空間で展開し、これらを更新することにより、三重の多様性の豊かさや三重の持つ多彩な魅力を次々と感じることができる展示です。訪れるたび、新しい発見ができます。



■ 基本展示

基本展示室は、大杉谷・大台ヶ原、鈴鹿山脈、伊勢湾、熊野灘に代表される三重の特徴的な自然環境を四隅に配置し、その中で育まれた人・モノ・文化の交流史を中央で展開します。また、山、盆地、平野、磯の4つの視点から人の暮らしと自然の関わりを総合的に考えるコーナーを、それらの間に配置します。これらを大きな空間で一体的に紹介することで、三重の自然と歴史・文化を総合的にとらえ、表現します。

● 共有展示

1つの資料を自然と歴史・文化の両面から見る手法を取り入れることで、資料を一体的・総合的に紹介します。

● 参加する展示

4つの「くらしと自然」のコーナーには、県民・利用者のみなさんから寄せられる「くらしと自然」に関連した写真資料や情報を反映する「参加する」展示を設け、県民・利用者のみなさんとともにつくる展示とします。

■ テーマ展示

基本展示を発展させ、三重の多様で豊かな自然と歴史・文化を多角的・多面的に、または全国的な視野から紹介するために、複数のテーマによる大小さまざまな展示をフレキシブルに組み合わせて展開します。テーマ展示は「トピック展示」、「企画展示(自主企画展・全国巡回展)」、「交流展示」で構成します。

● トピック展示

基本展示の内容と関連することや基本展示をさらに展開した、小規模な展示で、四季にちなんだ展開や、分野別、分類別、地域別などさまざまな切り口で紹介します。

● 企画展示

従来型の特別展・企画展に相当するもので、調査研究などの成果をベースに三重の自然と歴史・文化やこれにちなんだ幅広い魅力を紹介する自主企画展を年数回程度開催する展覧会のほかに、全国的な規模で行われる全国巡回展などを実施します。

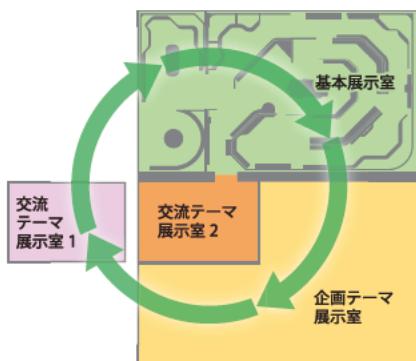
● 交流展示

県民や諸団体などとの協創による調査研究成果の展示、県民や諸団体の主体的な活動成果に博物館が展示技術の支援を行い実施する県民協創交流展をはじめ、大学、企業等と連携して実施する他機関などの連携展、博物館の展示発信機能を生かして、県の諸施策をより効果的に発信することを目的とした県諸施策との連携展など、さまざまな主体とともに交流展を実施します。



■ 基本展示とテーマ展示の連動

基本展示室と連動させ、大規模な全国巡回展や自主企画展、県民との協創交流展などの組み合わせで、多様な三重の魅力を幅広く紹介します。それぞれの展示内容や規模に応じて、大小さまざまな展示空間をつくりだします。3種類の仕様を持つ展示室を効果的に組み合わせ、多様な展示活動を展開します。また、交流テーマ展示室1では、展示だけではなく、ワークショップなどの多彩な催しの会場として使用するなど、柔軟な活用を可能とします。



展示の3つの基本

新博物館のめざす姿を具体化するにあたり、次の3つを基本において展示設計を行いました。

01 三重の自然と歴史・文化のことがわかる展示

博物館の各所で、三重を知り、学び、探求できるようさまざまな演出やしきけを配置します。

02 みんなで一緒につくっていく展示

県民・利用者のみなさんとともに進行する調査研究成果の展示をはじめ、みなさんから寄せられる地域の情報を展示などで発信していくなど、双方の交流型の活動を展開します。

03 子どもたちを育む展示

野外も含めた敷地全体を活用して、子どもたちが「遊ぶ・楽しむ」ことを通じて、知ること、考えることの楽しさを知り、博物館や地域に対して興味・関心をもてるようになります。



江戸時代もガイドブックで旅行の準備。

くわしくは、県博ホームページの「けんぱくのおすすめ」へ!
<http://www.bunka.pref.mie.jp/haku/osusume/index.htm>



07 ミュージアムフィールド

敷地内の緑を生かし、人と自然の持続可能な関係を県民・利用者のみなさんとともに考え、創造します

01 「交流の広場」

さまざまな活動を展開する場

三重を特徴づける植物や岩石を配置し、紹介します。広々とした心地よい広場で休憩を楽しむほか、さまざまな博物館活動や季節のイベントなどにも活用できます。

02 「野外学習スペース」

野外での活動を展開する場

建物に近接し、テントや水場を備える自然に馴染んだスペースとして、さまざまな野外展示やイベントを展開する場とします。

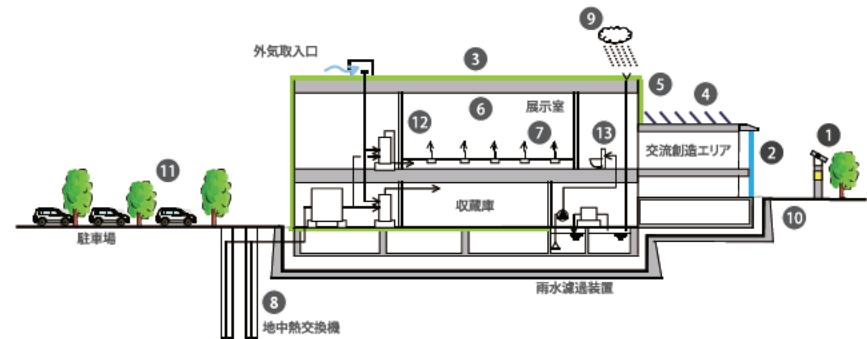
敷地内に残る緑を生かし、敷地内の自然環境の活用や環境配慮が感じられる施設としました。建物の周りの「ミュージアムフィールド」は、敷地内の緑地全体のことをいい、里山と交流の広場で構成されます。里山は、既存の地形や植生をできるだけ残しながら、県民・利用者のみなさんとともに育み、活用していくことを想定しています。ここでは、多様なフィールドワークを行うとともに、散策ルートを設けて、身近な自然に親しむ、憩いの場となります。交流の広場や野外学習スペースは、野外での学習活動や、イベントなどを行うとともに、実習用の畠地などを設け、博物館活動などに役立てます。こうしたことにより、新博物館では、館の中だけでなく、広い敷地環境を生かした、さまざまな活動の展開が可能になります。あわせて、ハイブリッド照明などを設置することで、環境学習の場としても活用できます。



03 「里 山」

里山における人と自然の持続可能な関わりについて考える場

本来の里山環境を体感できる取組を展開します。県民・利用者のみなさんとともに里山の保全活動を展開します。



① ハイブリッド照明

太陽光・風力発電を利用した省エネルギー照明とします。

② 日射遮断(縦ルーバー)

西側外窓に対して縦ルーバーを設置し日射負荷を低減します。

③ 屋根の断熱

展示室屋根に二重屋根を設置します。

④ 太陽光発電

自然エネルギーを利用するとともに、屋根の熱負荷を低減します。

⑤ 外断熱

展示・収蔵エリアの安定した環境を確保します。

⑥ 高効率照明器具

高周波点灯蛍光灯やLEDを採用します。

⑦ 床吹き出し空調方式

天井の高い展示室の居住域上下温度差や気流速度が少なくなるように床吹き出し空調を採用します。

⑧ 地中採熱・放熱管と地中熱利用ヒートポンプ

地中熱を利用した空調熱源システムによる省エネを採用します。

⑨ 雨水利用

屋根雨水を集水して便所洗浄水等に利用します。

⑩ 樹木の再利用

里山林の林床の保護などに再生チップを利用します。

⑪ 透水性舗装と駐車場緑化

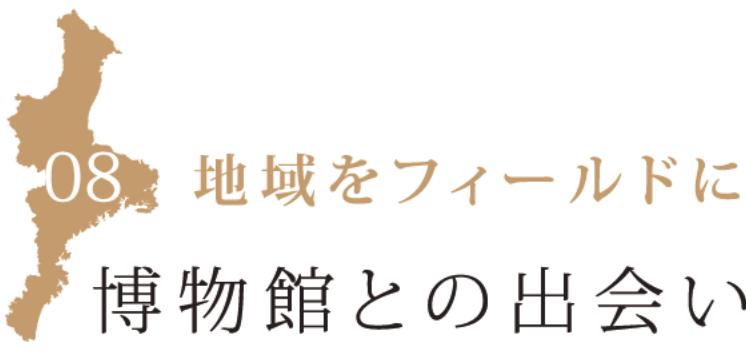
雨水流出の低減と暑熱環境の緩和のための透水性舗装と日射の遮蔽のための駐車場緑化をします。

⑫ 照明リモコンスイッチ

展示室や収蔵庫における照明の点滅区分の細分化やスケジュール発停とします。



みなさんと
一緒に
進めています。



08 地域をフィールドにした活動

博物館との出会いや 連携の場を県内各地で展開

移動展示やフィールドワークなどのアウトリーチ活動を 県内各地で展開すると同時に、活動先との連携を積極的に展開することで、博物館の活動を館外に広げます。

01 学校連携

資料や展示ノウハウで
学校カリキュラムを支援

学校カリキュラムに沿った貸し出し用資料や、活用の手引きを作成とともに、実践事例を蓄積します。また、児童・生徒や教員とともに調査研究活動を行い、その成果を地域での展示活動等で発信します。



03 地域連携

各地域での調査・研究・
発信をサポート

地域の博物館との連携展や諸団体との地域共同調査研究、研究発表、展示などの発信活動を地域で展開します。



02 移動展示

県内各地で博物館への
興味を高めます

館内の基本展示や自主企画展示・トピック展示などを、県内各地でも行うことにより、博物館への興味・関心を深めます。



04 (フィールドワーク) 県内各地での講座

地域の魅力を再発見

館内では行うことができない講座や自然観察などを県内各地で行い、地域の魅力の再発見につなげます。



“おどろき”いっぱいの博物館にしたいから!! ～平成 26 年開館に向けて～



みんなでつくる博物館会議



こども会議



新博ティーンズプロジェクト
博物館きわめるプロジェクト

新県立博物館の開館に向けた取組状況の報告、意見交換などを行いながら、開館後もみんなが博物館の活動や運営に参画できる仕組みづくりを行っています。

みんなでつくる博物館会議に加えて、子どもが主役になって、新県立博物館について意見やアイデアを出しあい、大人もまじえて話し合う「こども会議」を開催しています。

特に博物館に親しんでもらいたい子どもを対象に「博物館ってどんなところ?」をテーマに、子どもたちが自ら活動し、博物館のおもしろさを実感できるワークショップなど多様な取組を行っています。



大学や地域の団体との
シンポジウムなど



広報活動、アンケート



三重県立博物館サポートスタッフ

大学や地域の団体の皆さんと一緒にシンポジウムやイベントを開催して、新博物館について考えたり、人的ネットワークづくりを行ったり、学校やまちかど博物館と連携した移動展示を行ったりしています。

イベントや会議、駅、公共施設、ショッピングセンターなどさまざまな場所で広報活動を行うとともに、アンケートによる意見集約を行い、博物館づくりに生かしています。

小学生から80才代の方まで約230名のみなさんが、歴史や生きものなど個人の興味関心に基づいたグループ活動や博物館事業への参画などを行っています。

■整備スケジュール

| 年度 | 平成 21 年度 (2009 年度) | 平成 22 年度 (2010 年度) | 平成 23 年度 (2011 年度) | 平成 24 年度 (2012 年度) | 平成 25 年度 (2013 年度) | 平成 26 年度 (2014 年度) | オープン |
|------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|------|
| 施設整備 | 建築設計 | → | 建築工事 | | | 引越し 開館準備 | |
| 展示 | 展示設計 | → | 展示工事 | | | | |

みんなでつくる博物館です。
一緒に考えてみませんか?